農業委員会委員

無投票で改選

七月十九日で任期満了となつた農業委員の改選は、七月七、八日の二日間立候補の受付をしたところ、定数の十九名を超えなかつたため無投票となり、七月十四日の選挙において被選挙権等の審査をした結果、立候補者全員の当選が確認され、当選証書が交付されました。

改選された農業委員は、今后三年間、農家の信託に応えて地域農業の問題、国、県の農政の基本問題等について農家の先頭に立つて活躍することが期待されています。ことに農業をめぐる情勢や環境が一段と厳しさを加えているときだけに、その課せられた役割はより大きくなつたといわれます。

当選者氏名（届出順）

氏名	年令	住所	氏名	年令	住所
遠藤秀夫	46	小杉新	佐久間正夫	42	川根谷内新
佐藤両司	40	沢海新	中村桂二	49	横越現
佐藤千代志	52	木津現	高橋寅治	39	沢海現
田村茂理	49	藤山現	渡辺一	59	横越現
松本冨蔵	47	沢海現	茅原新二	44	横越現
高橋幸隆	41	横越現	宇野兵衛	51	木津現
斉藤正夫	41	焼山現	佐藤由松	56	横越現
小舟戸桂二	51	小杉現	阿部和一郎	41	小杉新
藤崎力夫	50	二本木現	吉井与一	49	二本木新

議会推せんからは

石倉八一氏 56才
浅見良一氏 38才

農協推せんからは

渋谷泉氏 41才

さる七月十九日開催された臨時議会で、石倉、浅見両氏が議会推せんされ、一方農業団体の農協からは組合長の渋谷氏が推せんされたので、七月二十日付で農業委員に選任されました。

従つて選挙による委員十九名と合せて、二十二名の農業委員が決りました。

会長に渡辺一氏を選出
会長代理に小舟戸桂二氏

改選後第一回農業委員会が七月二十七日開催され、委員の互選により、会長には渡辺一氏、会長代理には小舟戸桂二氏を選出しました。

村都市計画審議会

新用途地域と街路計画等原案を決定！

去る七月十四日第十三回の村都市計画審議会が開かれ、法改正による新用途地域の指定と、未決定であつた街路計画は原案どおり決定し、これを答申しました。

新用途地域は、従来四区分であつたものが法改正によつて八区分に分けられます。これによると新しい区分は、第一種住居専用地域。第二種住居専用地域。住居地域。商業地域。近隣商業地域。準工業地域。工業地域。工業専用地域ですが、村としては市街区域の面積、及び立地等からみて、従来と同じ住居地域、準工業地域の二地域に区分指定し、位置面積も従来どおりが適当との見地から原案のとおり決定しました。

街路計画は、市街化区域と市街化調整区域の線引后の計画決定がされていなかつたので、今回原案を作成し審議会の答申となつたものです。

内容としては、県道新律新潟線の巾員十二米（横雲橋取付道路は現道8米50）農免道路から赤道に到る間は新設12米、新潟浄水場予定地、及び総合小学定地の間の道路巾員十二米、阿賀用水路市街化区域内の両側6米50の計画内容となつています。

お盆です！！
飲酒運転はやめましょう！！

科学の進んだ今日でも、血液は人工的につくることはできません。又、人間の血液は人間の血液でおぎなう以外に方法がないことです。ときには親子の間でも輸血ができないこともあります。

以前は輸血用の売血制度がありましたが、黄色血液による血清肝炎による事例が非常に多い等のへい害から、完全に禁止されています。

したがつて輸血はすべて人々の善意によつてまかなわれているのです。

本村では、昭和四十五年度から全村に献血の組織をつくつて、村民の皆さんから暖かいご協力をいただきました。

又、二本木の山崎製パン工場では、永年にわたつて、年二回、多くの従業員の皆さんが献血に応じられ、大きな実績を挙げられています。さる七月二十六日にも、多勢の皆さんの献血が行なわれています。

これら善意あふれる行為が必らずや、今日も重病やケガの人のために、多くの尊い生命を救つているものと信じます。この紙上を通して厚くお礼申し上げます。

村では今后も引続いてこの善意の輪を、次から次へと広げ、人口の四十分の一（約二百人）の皆さんから春秋二回献血のご協力を願うことにしています。今年度の第二回目は沢海地区において十月二十二日に実施する予定ですので皆さんの善意ある献血をお願いいたします。

○○○血液は生命の泉○○○
献血の輪をひろげよう

「健康で明るい生活は……私たちの願い
社会全体のため、家族のため、さらには自分自身のために献血しましょう」

産業育成資金申込受付中

◈借受資格者　村内在住の商工業者
◈用途内容　設備資金・運転資金
◈限度額　50万円
◈期間　1ヶ年
◈利率　年7.5%
◈返済　原則として均等償還（事情により分割払もできる）

⊙借受け希望者は役場産業経済課へどうぞ……

戸籍のはなし

①戸籍の概略

これから何回かにわたつて戸籍のことと、そのしくみについてお話します。

一、身分ということ

わたくしたちは、だれでも夫婦とか親子あるいはオジ、オバなどというような一定の親族関係を持つています。そして、法律は、親と子、夫と妻などというような身分関係をもとにして、いろいろな法律関係を定めています。たとえば法律上未成年の子は親の親権に服するとか、人が死亡すればその人の子や、妻が相続人として遺産を相続するなどというように、身分関係はいろいろな権利、義務の基礎となつています。

ところで、ある人がどのような身分関係にあるかということは、その人ばかりでなく他人にとつても大へん重要なことです。たとえば、相続の場合ですと、だれが相続人であるかなどは、第三者にとつても重要な利害関係があります。

また、結婚したいと思う相手の年令が何才であるのか、相手の言葉だけでは心配だという場合もありましよう。

そこで、人がいつ生まれ、いつ死亡したとか、親子、夫婦の関係にあるとか、という人の身分関係を登録しておき必要なときにそれを証明するため、もうけられたのが戸籍制度です。そして身分関係をその身分関係の発生順に、記載したのが戸籍です。

二、届出の効果について

わが国では、事実上夫婦として生活し、あるいは養子とするつもりで育てていても、それだけでは法律上正式に認められない夫婦や親子として認められません。市町村役場に婚姻や養子の縁組の届出をすることによつて、はじめて法律上の夫婦や親子となります。

つまり、戸籍制度は、人の身分関係を登録証明するだけでなく、身分関係を成立させあるいは解消する作用をもつています。

このわが国の戸籍制度は、明治四年に戸籍法が制定されて以来満一〇〇年をむかえました。このように長い歴史と伝統をもち、しかも能迅速という完備された戸籍制度は世界にも例がないものといわれています。

戸籍は、すべての国民について、一組の夫婦、親子を単位としてつくられ、わたくしたちの市町村役場に保管されています。そして、人の出生から死亡までの身分関係が、戸籍法に定められた一定の手続にしたがつて登録されています。

普通、戸籍は出生とか、婚姻とかの届出にもとづいて記載され、その届出は原則として本人の本籍地または届出人の所在地の市町村役場にすることになつています。そして出生、死亡などの届出については、届出期間や届出義務者が定められています。他方、婚姻や養子縁組などの届出については、届出期間の定めはありませんが、戸籍の届出をしなければ法律上正式な夫婦や親子として認められないのであつて、相続などのときは不利益を受けることとなりますから、できるだけ早く届出をすることが大切です。

戸籍謄は、一戸籍につき、五〇円の手数料を納めれば、だれでも閲覧できます。また一枚五〇円の手数料でその戸籍謄抄本を交付してもらうことができます。……（続く）

不燃焼物の集搬日

八月一日から変更

四月から燃えないごみ等の集収運搬をしてきましたが、各家庭の手持もなくなつたようですので、八月一日から九月三十日まで暫定的に燃えないごみの集搬を行ないますから、下記の集搬日を忘れないようご留意下さい。

ごみの大きさや、個数は三月末に各戸に配布したことと変つていません。

この際特にご協力とご理解を願いたいことは、ごみの集搬車は皆さんの税金で運営されていますので、一人一人がしまつできるごみ等は、焼くか又は空地に埋めて土地に還元するか、色々な工夫をしてもらいたいところです。

これからはお盆掃除のため生垣の枝、又は枝豆の木、とうもろこしの食べがら、すいかの皮等々になやまされますので一人一人のご協力を重ねてお願いいたします。

◉不燃焼物集収日

一、火曜日に出す地区
八月―1日、15日、29日
九月―12日、26日
二、金曜日に出す地区
八月―11日、25日
九月―8日、22日

◎不燃焼物は右の日以外は出さないで下さい。

事業所統計調査にご協力を

九月一日を期して、全国いつせいに事業所統計調査を実施します。この調査は、国勢調査とならぶ大切な統計調査で、事務所、工場、飲食店、学校、寺院等にいたるまで、あらゆる種類の事業所について、経営組織や事業の内容等を調べ、従業者数の規模や不の産業別構成を明らかにするものでいわば日本の産業の見取図を作る統計調査です。

お忙しいところ恐縮ですが、この調査の重要性をご理解いただき、ご協力くださるようお願いします。

心からおくやみ申します

一月から亡くなられた方々

故人	年令	部落
藩橋房次	75	沢海下
井越哲夫	32	二本木中
坂井ヨヘ	83	横越上
中村ヨリ	83	横越上
今井源蔵	86	木津中
志田清治	68	駒込
鈴木仙一	70	小杉上
佐藤サクノ	86	焼山
渋谷イネ	72	焼山
阿部イネ	89	横越上
高橋次郎平	75	沢海上
安彦庄三郎	84	沢海上
横山善五郎	78	沢海中
中川クメ	72	小杉上
神田敬蔵	76	横越中
宇野サタ	85	木津上
山田広三郎	81	木津中
市村元次	81	川根谷内
斎藤トヨ	77	横越中
市村彦馬	82	横越中
栗山丹吾	71	木津上
睦ムツ	78	沢海中
長瀬マツ	84	小杉中
小武八四二	76	駒込
伊藤チト	88	木津中
笠原フミ	54	木津中
中村正行	13	横越上
馬場利助	72	小杉下
仲村カジ	82	二本木中
小出加奈子	1	小杉上
大島熊一	61	木津下
五十嵐スキ	75	沢海上
西田マス	64	横越下
川崎兼吉	80	横越中
山崎彦藤	77	横越下
雪松ジュン	87	沢海下
田中栄怜	62	横越中
井越政幸	39	二本木上
石塚誠	39	二本木中
藩橋房次	75	沢海下
井越哲夫	32	二本木中
坂井ヨヘ	83	横越上
中村ヨリ	83	横越上
今井源蔵	86	木津中
志田清治	68	駒込
鈴木仙一	70	小杉上
佐藤サクノ	86	焼山
渋谷イネ	72	焼山
阿部イネ	89	横越上
高橋次郎平	75	沢海上
安彦庄三郎	84	沢海上
横山善五郎	78	沢海中
中川クメ	72	小杉上
神田敬蔵	76	横越中
宇野サタ	85	木津上
山田広三郎	81	木津中
市村元次	81	川根谷内
斎藤トヨ	77	横越中
市村彦馬	82	横越中
栗山丹吾	71	木津上
睦ムツ	78	沢海中
長瀬マツ	84	小杉中
小武八四二	76	駒込
伊藤チト	88	木津中
笠原フミ	54	木津中
中村正行	13	横越上
馬場利助	72	小杉下
仲村カジ	82	二本木中
小出加奈子	1	小杉上
大島熊一	61	木津下
五十嵐スキ	75	沢海上
西田マス	64	横越下
川崎兼吉	80	横越中
山崎彦藤	77	横越下
雪松ジュン	87	沢海下
田中栄怜	62	横越中
井越政幸	39	二本木上
石塚誠	39	二本木中